

1次産業 + 3次産業を目指して！



村井 皇康さん

- 【出身地】北海道
- 【就農前の職業】会社員（広告代理店）
- 【就農地】山形市
- 【就農年度】平成30年度
(H29年4月から独立就農者
育成研修で1年間研修)
- 【経営概要】さつまいも10a、ナス6a、
ブロッコリー6a、
越冬キャベツ4a、レタス2a、
その他（ニンニク、ネギ等）3a

広告代理店の仕事をする中で、いつか起業したい!という思いはありました。そんな中、山形県のある町で仕事をする機会があり、農家の人たちと接する中で、その心意気に純粋なものを感じ、「農業で起業しよう!」と決心しました。山形・山梨・長野の3県に的を絞り検討した結果、野菜・果樹・畜産が盛んなことに加え米がうまいことから「すべての農作物のトップブランドは山形だ!」と、山形県での就農を決めました。

やまがた農業支援センターの短期体験プログラムを4回実施して、高い技術力を持ち、販路も多い農家の方のもとで、1年間研修をしました。就農にあたっては坪単価の高いナスを中心に、作業に支障がない野菜類を選定しました。

就農前に感じた「自分の努力や工夫で、いくらでも儲けられる」という考えは、就農後木っ端みじんに消え去りました。しかし一方で、サツマイモのシルクスイートを

直接消費者に売ったところ、消費者からリアルな反応があり、無農薬・減農薬・有機栽培にチャレンジするなど、農業の違う魅力に気づき、やりがいを感じるようになりました。

秀品率を上げ、効率・コストの削減につなげることや畑の確保など、課題も多々ありますが、地域貢献を行い地産地消を進め自分の店を持つ、幅広い交流の場を提供する、一生懸命稼いで税金をたくさん収めるという目標の実現に向け、これからも頑張ります。

〈これから就農を目指す人へのアドバイス〉

長期研修先を選ぶときは、何度も短期研修などを行い十分検討してください。また、なるべく多くの貯金を準備して研修に臨んで欲しいです。最後に、厳しいことを言ってくれる真の味方を作ってください。スムーズな就農とその後の安定経営につながります。